

JR連合結成25年 政策課題と組織課題のさらなる前進を図り、これからも安全で信頼されるJRを築こう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行者 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook
twitter

第66回JR連合国会議員懇談会 当面の組織課題・政策課題を共有 21世紀の鉄道を考える議員フォーラム 第13回総会開催を確認

JR連合は、3月27日、第66回JR連合国会議員懇談会を開催した。

今国会における政策課題を共有し、さらに現下で激化するJR東日本における労政を中心とした組織課題を確認し合った。また、JR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第13回総会の開催と、総会において承認される新規加入議員を確認した。

冒頭、JR連合を代表して松岡裕次会長は挨拶に立ち、2018春季生活闘争におけるJR各単組の成果を報告し、とりわけ貨物鉄産労における19年ぶりのベア獲得については「モーターシフトに資する法改正を伴う政策展開にご尽力いただいた」と松葉津也会長にお礼を述べた。また、組織課題については、JR東

18-2019」の策定・冊子の配布行動に取り組みことを報告した。また、4月18日にJR連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第13回総会及び「地方議員団連絡会」総会を開催することを確認し、新たに議員フォーラムに加入される国会議員15人を確認し合った。

参加議員からは、鉄道軌道整備法改正やJR北海道・JR四国・JR九州の地方路線に関する動きについての発言や、新聞報道等で社会的な関心も高まる組織課題に関する質問などがあり、JR連合の考え方を説明するとともに、問題意識を共有した。



国会内での政局の節目というべき状況について述べる松葉会長

2018春季生活闘争(グループ労組) すべてのでJR関係労働者の労働条件改善にむけて 24単組妥結 13単組でベア獲得

2018春季生活闘争においては、JR7単組が妥結し、5単組でベアを獲得している。また、バス・船舶関係などでも7機関中、6機関で妥結した。そのうち、JR西労組西バス地本は5年連続のベア回答を引き出し、JR九州労組はJR九州高速船株から10年ぶりのベア回答を引き出した。

一方、グループ労組においては、2月15日にJRグループ労組連合会2018春闘総決起集会を開催し、加盟するグループ93単組一丸となった春闘の構築を再確認した。4月11日時点で把握する限りでは、グループ労組93単組中、81単組が要求書を提出し、うち24単組が妥結し、13単組がベアを獲得し、その他の単組も総合生活改善に資する成果をあげている。

JR連合は、すべてのJR関係労働者の労働条件改善にむけて、最後の最後まで、各単組の取り組みを支援していく。

- 後藤工業労組(3月7日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・夏季手当 3・2ヶ月
 - ・年度末一時金
 - ・社員10万円
 - ・契約社員(フル) 5万円
 - ・契約社員(パート) 3万円
 - ・所有住宅手当の新設
- 生活習慣病予防検診料の一部補助**
- JR西日本交通サービス労組(3月12日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・夏季手当
 - ・社員 JROB・出向受・嘱託社員2・2ヶ月

- JR西日本デパートネットサービス労組(3月16日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・年間臨給
 - ・社員4・82ヶ月
 - ・契約社員4・82ヶ月
 - ・レギュラー社員3・2776ヶ月
 - ・嘱託社員1・0ヶ月
 - ・衛生管理者手当の新設
 - ・インフルエンザ予防接種費用の全額補助
 - ・育児時短勤務の小学1年生まで引き上げ
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・広島島労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 500円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・76ヶ月

- JR西日本商事労組(3月19日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給 5・06ヶ月
 - ・JR西日本総合ビルサービス労組(3月20日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 500円
 - ・契約社員の時給引き上げ
 - ・整備140円(月給制は社員5万円)

- JR西日本マルニックス労組(3月22日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・非正規時給引き上げ10円
 - ・職能給(41号俸)の引き上げ 100円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・3ヶ月+4万円
 - ・契約社員(5年以上) 1・2ヶ月+2万4000円
 - ・契約社員(5年未満) 1ヶ月+2万3000円
 - ・パート2万2000円
 - ・年度末手当
 - ・社員5万円

- JR西日本米子メンテナンス労組(3月22日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・夏季手当 4・2ヶ月
 - ・年間総労働時間の短縮(2056時間→1991時間)
 - ・汚損・入換作業手当改善
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・ト金沢労組(3月23日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・年間臨給
 - ・社員4・5ヶ月
 - ・嘱託社員3・3ヶ月
 - ・防火管理者、衛生管理者手当の新設
 - ・KSK労組(3月26日妥結)
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月

- JR九州システムソリューションズ労組(3月27日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・慶弔見舞金制度の新設
 - ・パートナースタッフの無期転換制度の導入
 - ・大鉄工業労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1500円
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・岡山山労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月

- JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)**
- ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- B社員1・85ヶ月**
- ・契約社員1・7ヶ月
 - ・慰労金(臨時社員) 15000~30000円
 - ・商品券の支給
 - ・JR西日本デパートネットサービス労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・年間臨給
 - ・社員4・82ヶ月
 - ・契約社員4・82ヶ月
 - ・レギュラー社員3・2776ヶ月
 - ・嘱託社員1・0ヶ月
 - ・衛生管理者手当の新設
 - ・インフルエンザ予防接種費用の全額補助
 - ・育児時短勤務の小学1年生まで引き上げ
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・広島島労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 500円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・76ヶ月

- 契約社員1・0ヶ月**
- ・エリア社員4・04ヶ月
 - ・半休制度の新設
 - ・福利厚生サービス加入
 - ・ジェイアール四国ホテル開発労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・通勤手当の月額支給限度額引き上げ
 - ・徳島ターミナルビル労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・通勤手当の月額支給限度額引き上げ
 - ・10円相当、警備20~40円
 - ・諸手当の新設(グループリーダー現場長、警備員指導教育責任者)
 - ・資格関連手当の見直し
 - ・育児短時間勤務制度の小学校卒業まで引き上げ
 - ・JR西日本金沢メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・特別昇給 1100円
 - ・年間臨給
 - ・社員A、嘱託社員5ヶ月
 - ・社員B社員の1/3ヶ月
 - ・JR西日本マルニックス労組(3月22日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・非正規時給引き上げ10円
 - ・職能給(41号俸)の引き上げ 100円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・3ヶ月+4万円
 - ・契約社員(5年以上) 1・2ヶ月+2万4000円
 - ・契約社員(5年未満) 1ヶ月+2万3000円
 - ・パート2万2000円
 - ・年度末手当
 - ・社員5万円

- 契約社員3万円**
- ・パート1万5000円
 - ・企業内最低賃金の改正
 - ・家族手当の改善
 - ・JR西日本福知山メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・加算額 1500円
 - ・職務給、役付手当の改訂
 - ・嘱託社員の職務給、業務手当の支給対象年令引き上げ(65歳)
 - ・JR西日本米子メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・夏季賞与 2・5ヶ月
 - ・臨時一時金30000円
 - ・年次有給休暇の計画的付与制度の導入
 - ・リフレッシュ休暇規程
 - ・子供手当の新設
 - ・別居、業務手当の見直し
 - ・JR九州システムソリューションズ労組(3月27日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・慶弔見舞金制度の新設
 - ・パートナースタッフの無期転換制度の導入
 - ・大鉄工業労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1500円
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・岡山山労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月

- 契約社員50000円**
- ・契約社員20000円
 - ・ベア 1000円
 - ・嘱託社員5000円~10000円
 - ・契約社員4・8ヶ月
 - ・JR西日本レンタカー&リース労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・特別休日の4日増
 - ・半休制度の新設
 - ・JR西日本レンタカー&リース労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月
 - ・契約社員(5年以上) 1・2ヶ月+2万4000円
 - ・契約社員(5年未満) 1ヶ月+2万3000円
 - ・パート2万2000円
 - ・年度末手当
 - ・社員5万円

- 契約社員1・5ヶ月**
- ・契約社員1・5ヶ月
 - ・嘱託社員1・2ヶ月+3万円
 - ・エリア社員1・5ヶ月+4万円
 - ・嘱託社員1・2ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・2ヶ月+3万円**
- ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・2ヶ月+3万円**
- ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・0ヶ月**
- ・エリア社員4・04ヶ月
 - ・半休制度の新設
 - ・福利厚生サービス加入
 - ・ジェイアール四国ホテル開発労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・通勤手当の月額支給限度額引き上げ
 - ・徳島ターミナルビル労組(3月16日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・通勤手当の月額支給限度額引き上げ
 - ・10円相当、警備20~40円
 - ・諸手当の新設(グループリーダー現場長、警備員指導教育責任者)
 - ・資格関連手当の見直し
 - ・育児短時間勤務制度の小学校卒業まで引き上げ
 - ・JR西日本金沢メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・特別昇給 1100円
 - ・年間臨給
 - ・社員A、嘱託社員5ヶ月
 - ・社員B社員の1/3ヶ月
 - ・JR西日本マルニックス労組(3月22日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・非正規時給引き上げ10円
 - ・職能給(41号俸)の引き上げ 100円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・3ヶ月+4万円
 - ・契約社員(5年以上) 1・2ヶ月+2万4000円
 - ・契約社員(5年未満) 1ヶ月+2万3000円
 - ・パート2万2000円
 - ・年度末手当
 - ・社員5万円

- 契約社員3万円**
- ・パート1万5000円
 - ・企業内最低賃金の改正
 - ・家族手当の改善
 - ・JR西日本福知山メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・加算額 1500円
 - ・職務給、役付手当の改訂
 - ・嘱託社員の職務給、業務手当の支給対象年令引き上げ(65歳)
 - ・JR西日本米子メンテナンス労組(3月22日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・夏季賞与 2・5ヶ月
 - ・臨時一時金30000円
 - ・年次有給休暇の計画的付与制度の導入
 - ・リフレッシュ休暇規程
 - ・子供手当の新設
 - ・別居、業務手当の見直し
 - ・JR九州システムソリューションズ労組(3月27日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・慶弔見舞金制度の新設
 - ・パートナースタッフの無期転換制度の導入
 - ・大鉄工業労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1500円
 - ・ジェイアールサービスネット
 - ・岡山山労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月

- 契約社員50000円**
- ・契約社員20000円
 - ・ベア 1000円
 - ・嘱託社員5000円~10000円
 - ・契約社員4・8ヶ月
 - ・JR西日本レンタカー&リース労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・特別休日の4日増
 - ・半休制度の新設
 - ・JR西日本レンタカー&リース労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・ベア 1000円
 - ・年間臨給
 - ・社員4・8ヶ月
 - ・契約社員(5年以上) 1・2ヶ月+2万4000円
 - ・契約社員(5年未満) 1ヶ月+2万3000円
 - ・パート2万2000円
 - ・年度末手当
 - ・社員5万円

- 契約社員1・5ヶ月**
- ・契約社員1・5ヶ月
 - ・嘱託社員1・2ヶ月+3万円
 - ・エリア社員1・5ヶ月+4万円
 - ・嘱託社員1・2ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・2ヶ月+3万円**
- ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・2ヶ月+3万円**
- ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

- 契約社員1・2ヶ月+3万円**
- ・契約社員(第一種) 1・0ヶ月+3万円
 - ・契約社員(第二種) 3万~1万円
 - ・特別手当
 - ・社員5万円
 - ・エリア・嘱託社員3万円
 - ・契約社員1万円
 - ・永年勤続表彰制度の新設
 - ・転居を伴う異動者への住宅手当の増額
 - ・JR西日本コミュニケーションズ労組(3月28日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・JR九州バス労組(3月30日妥結)
 - ・定期昇給 実施
 - ・単身赴任者への家賃補助の改善

JR連合は、引き続きJR連合国会議員懇談会メンバーと連携し、当面する諸課題解決にむけて、取り組みを強化していく。

メーデー 中央大会
日時: 2018年4月28日(日) 10:00~14:30
会場: 代々木公園
MAYDAY
平和と人権を守り、あらゆる差別をなくそう! 働く者のための働き方改革をすすめて、すべての仲間と結集しよう!

【お詫びと訂正】
本紙第567号の1面「2018春季生活闘争要求及び妥結状況表」中、JR西労組の賞与の妥結欄を、「年5・66ヶ月」とすべきところが、「年5・86ヶ月」となっており訂正しました。訂正し、お詫びいたします。

特集

民主化闘争 32

混迷極めるJR東労組 ついに脱退者3万人に迫る

JR東労組の今春季生活闘争におけるストライキ戦術に端を発すると見られる組織混乱は、ついに脱退者が3万人に迫るといふ壊滅的な状況にまで発展している。当初4万6千人の組合員数のうち、過半数を優に上回り、約7割が脱退したことになる。4月10日、東洋経済オンラインでも「かつてない異常事態だ。30年を節目に労使関係は大きな転換期を迎えている」と現状を詳しく報じている。

この組織存亡の危機の中で、この間のJR東労組中央本部や東京地本の動きに反発するかのようには、盛岡・秋田・仙台の東北3地本と大宮地本、横浜地本などが、事態收拾をはかるために臨時大会の開催を要請し、4月12日に臨時大会が開催されることとなった。

英一氏の制裁申請と執行権停止および組合員権の一部停止の緊急措置、②「中央執行委員長代理に、村田俊雄中央執行委員長を指名」、③「中央執行委員長・東京地本執行委員長（宮澤和広氏）の制裁申請と執行権停止および組合員権の一部停止の緊急措置」、④「中央闘争委員会の解散」、⑤「不当労働行為に抗する闘いの体制の解除」、の5点を確認したようだ。すべての地本代表者が出席する春季生活闘争の戦術委員会が決められたストライキ戦術にも拘わらず、吉川・宮

澤両氏のみ全ての責任をなすりつけることで混乱の沈静を図ろうとしているようだ。一方で、これまで沈黙を貫いていたように見えるJR東労組の上部機関であるJR総連は、複数の国会議員に対して、「JR総連通信(号外)」なる資料を持参し、「JR東労組のストライキ戦術が労働協約に違反する行為であった」と主張する行為であった。本部の吉川委員長と東京地本の宮澤委員長、2人に対する制裁申請や緊急措置がとられたことを説明して回っている。JR総連までもが、間違った運動を牽引し組織混乱を招いた2人が制裁されることは当然であるとも言うかのよう、JR東労組の無責

任極まりない動きに積極加担しているようだ。しかし、このような動きに対して、「会社による組合脱退強要が行われている」と主張して不当労働行為救済申し立てを行い、中央本部を擁護するような動きをとってきた東京・八王子・水戸の3地本は黙って見ているだけなのだろうか。臨時大会における多くの代表員を占める3地本の

に分かれ、昨日の内容を振り返り、JR北労組や貨物鉄産労の仲間から職場の実態や組織拡大などの取り組みについて報告をもちょうとにも、意見交換を行った。最後には、「あるべき労働組合・労使関係」について、グループごとにまとめ、発表を行い、民主化闘争の意義や必要性について整理

Rに入社する仲間に向けた産業別労働組合としての、JR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。

JRに入社するみなさん！私たちがJR連合とともにJRの未来をきり拓いていきます。『JR連合』で検索！ URL (青年) : http://www.jrrengo.jp/seiiohtml

JR連合は、4月からJR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。

JR連合は、4月からJR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。

民主化闘争への思いを共有



第17回JR連合青年・女性役員研修会

3月25〜26日 JR連合は、都内において「第17回JR連合青年女性役員研修会」を開催した。「民主化闘争」をテーマとして、次代を担うJR連合各地協、エリア連合、および単組青年・女

性組織の役員ら37人が参加した。初日はまず、中山耕介組長・政治部長から「日本の労働組合の歴史と国鉄・JR労働界の変遷及び情勢」と題して、日本における労働組合・労働運動の歴史を含め、現在に至るまでの経緯や各組織の成り立ちなどについて、講義を受けた。

初日の最後は、松岡裕次会長による「JR連合結成の経緯及び今後の民主化闘争の取り組みについて」の講義で締めくくった。とりわけ、現下の情勢におけるJR連合としての考え方や、JR労働界の一元化にむけた決意が述べられた。

2日目は、グループごと

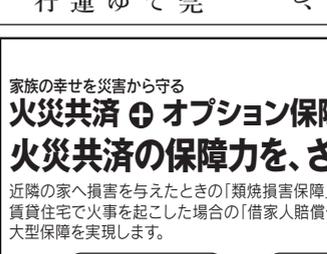
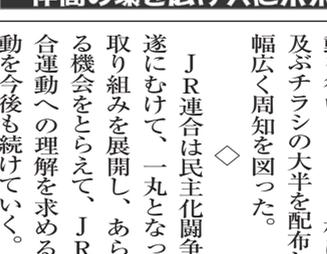
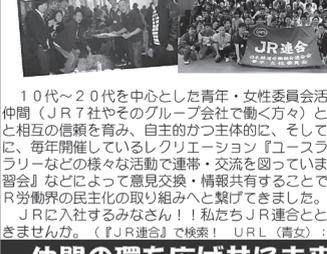
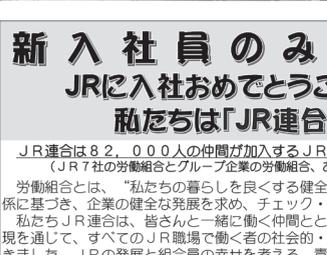
にまとめ、発表を行い、民主化闘争の意義や必要性について整理

Rに入社する仲間に向けた産業別労働組合としての、JR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。

JRに入社するみなさん！私たちがJR連合とともにJRの未来をきり拓いていきます。『JR連合』で検索！ URL (青年) : http://www.jrrengo.jp/seiiohtml

JR連合は、4月からJR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。

JR連合は、4月からJR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。



JR東労組、組合員2.8万人「大量脱退」の衝撃
民営化から30年、大きな転機を迎えている
2018年4月10日
本誌 青島 東洋経済 記者

役員紹介
小笠原 浩文 さん
中央執行副委員長
(東北地区本部執行委員長兼任)

新入社員のみなさんへ
JRに入社おめでとうございます!!
私たちが「JR連合」です!!
JR連合は82,000人の仲間が加入するJR最大の産業別労働組合です。
(JR7社の労働組合とグループ企業労働組合、あわせて100組合が加盟)
労働組合とは、「私たちの暮らしを良くする健全な組織」です。会社との信頼関係に基づき、企業の健全な発展を求め、チエック・提言機能を果たすべき立場です。
私たちがJR連合は、皆さんと一緒に働く仲間とともに、産業政策、労働政策の実現を通じて、すべてのJR職場で働く者の社会的・経済的地位の向上に取り組んでまいりました。JRの発展と組合員の幸せを考え、責任ある組合です。
※JRグループには私たちがJR連合以外にも、JR総連や国鉄労働組合といった労働組合もあります。
31年前、国鉄からJRHへの組織移行が完了しましたが、国鉄時代の労働組合が互立互闘で育ったため、現在でもその流れが負の遺産として残り、今に至っています。※それぞれの組合の違いをよく確認してください。

火災共済 オプション保障
火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。
近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

JR私傷病共済
少ない掛金で安心のサポート
JR私傷病共済は、全国のJR連合組合員が
会員となりてサポートされている互助型共済です。
金銭的負担の軽減、家族の生活をサポートする制度です。
減収分を補填、家族の生活をサポートする制度です。
2016年度(2016年4月〜2017年3月)は29名の加入者により、
33,301,000円の傷病補償を支払いました。

貨物鉄産労 中央執行副委員長
小笠原 浩文 さん
構内において、死亡労災事故が発生しました。「すべてのJR関係者の死亡事故・重大事故ゼロ」を目標に活動を展開してきたが、まさに痛恨の極みであります。今後ともJR貨物本體・グループ会社・協力会社と共に、JR連合の「安全指針」を活用し、より一層の安全確立を作り上げていかなければなりません。悲惨な事故を二度と繰り返さないという強い決意を持ち行動していきたいと思っております。
東北地区本部委員長も兼務をして

JR連合ととも
JRの未来をきり拓いていこう!
JR連合は、4月からJR東最大10代〜20代を中心とした青年・女性委員会活動では、JR連合に集う全国の仲間（JR7社やそのグループ会社で働く方々）との交流を深めつつ、幅広い視野と相互の信頼を育み、自主的かつ主体的に、そして活発に活動を行っています。特に、毎年開催しているレクリエーション『ユースラリー』では、BBQやウォークラリーなどの様々な活動で連帯・交流を図っています。『各種研修会・学習会』などによって意見交換・情報共有することで、JR産業のさらなる発展とJR労働者の民主化の取り組みへと繋がってまいりました。